

「世界津波の日」

WORLD
TSUNAMI
AWARENESS
DAY
5 NOVEMBER
2016



高校生サミットin黒潮

【日時】11月25日(金) 16:20~18:15・26日(土) 8:20~17:20

【場所】県立土佐西南大規模公園 体育館

自然災害から生きぬくために、次世代を担う私たちができること ~自助・共助・公助の視点から~

津波の脅威と対策への国際的な意識向上を目的に、日本が提唱し日本を含む世界142カ国が共同提案を行った11月5日を、国連の共通記念日である「世界津波の日」とすることについて、2015年12月、国連総会委員会において全会一致で採択されました。

このたび、「世界津波の日」の啓発イベントとして、青少年による国際会議「『世界津波の日』高校生サミットin黒潮」を、黒潮町において開催し、県内6校、国内32校のほか、世界29カ国の高校から総勢364人の高校生が参加します。

地震津波は多くの人命を奪い、甚大な被害をもたらす各国共通の課題です。今回の高校生サミットは、防災の知見と地震津波の脅威を伝え、必要な防災、減災、迅速な復旧復興といった災害に関するテーマについて学習・意見交換することにより、地震津波などの災害から国民の生命、身体、財産を保護し、国民生活および国民経済に及ぼす影響を最小化することのできる、将来のリーダーを育成することを目的に開催されるものです。



高知県知事
尾崎 正直

高知県では、近い将来必ず起こると想定される南海トラフ地震に備えて、発災直後の「命を守る」対策を徹底するとともに、助かった「命をつなぐ」対策、そしてその後の「生活を立ち上げる」対策について全力で取り組んでいます。

そうした中、「世界津波の日」高校生サミットin黒潮を本県の黒潮町で開催できることを大変嬉しく思います。このサミットを通じて、今回参加する高校生同士が、それぞれの国において防災リーダーとして活躍されることを期待しています。



高知県教育委員会 教育長
田村 壮児

「世界津波の日」高校生サミットin黒潮は、次代を担う高校生が、防災・減災について考え学び合い、国際的な視野も広げられる大変意義のある取組です。

参加校は、自然災害の学習、ボランティアや啓発活動、防災・減災を通じた地域づくりなど、多岐にわたる内容で、今後、自分たちが取り組むことを提案し、それらを「黒潮宣言」としてまとめ、当日に発表します。その意志が、世界の高校生に引き継がれ、自然災害から世界中の人々の命を守る対策を推し進める原動力となっていくことを心より期待しております。



黒潮町長
大西 勝也

サミットの開催地となる黒潮町は、2012年、近い将来に想定されている南海トラフ地震において「津波想定高34.4m」という発表を受けました。以来、本町では町民が丸となり津波・防災対策に全力で取り組んできました。

本サミットでは、世界30カ国から数多くの学生が黒潮町へ集まります。津波による甚大な被害が想定されながらも、自然と共生する町の取組を世界に示し、学生たちが自らの命と真剣に向き合い、防災を通じて絆が深まることを期待しています。



黒潮町教育委員会 教育長
坂本 勝

今、世界各地で発生している自然災害から、人々の命や財産・暮らしを守ることは各国共通の課題となっています。

このたび「世界津波の日」の啓発イベントとして、高校生による国際会議「世界津波の日」高校生サミットin黒潮が開催されます。海外29カ国、国内35校の高校生が参加する中で、地元大方高校の生徒2人が議長を務め、地震津波の脅威や自然災害について学びあい、その影響を最小化していくための取組を、「黒潮宣言」として世界に発信します。サミットの成功とあわせ、高校生たちの意思が世界中に引き継がれていくことを期待しております。

大会プログラム

◆25日(金) 16:20~18:15 **開会式**(開会宣言・OECD東北スクールの取組み発表・ブリーフィング)



場所/体育館アリーナ

※OECD東北スクールとは、OECDと文部科学省および福島大学による東北地方の経済活性化を目指す復興教育プロジェクトです。

◆26日(土) 08:20~12:30 **分科会・フィールドワーク**(津波避難訓練など)

場所/大方あかつき館・体育館・コウジン山避難場所

13:45~14:10 **記念植樹・記念撮影**

場所/大方あかつき館

15:00~17:20 **総会**(東日本大震災被災地からの報告・分科会報告・黒潮宣言採択・閉会宣言)

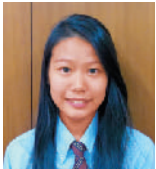
場所/体育館アリーナ

18:40~20:10 **フェアウェルパーティー**

場所/新ロイヤルホテル四万十

※一般の方のために体育館アリーナ2階席を開放していますので、自由にご観覧ください。
なお、その他の会場は関係者のみの立ち入りになりますのでご了承ください。

※大会当日、会場周辺の交通規制を行います。土佐入野駅~会場間でシャトルバスを随時運行しますので、来場の際はご利用ください。
(運行時間25日15:00~19:00、26日10:00~18:00)



高校生議長 大方高校
今井 恋

オーストラリアで数年間暮らしていたこともあり、英語を使う良い機会だと思ひ議長を引き受けました。当初は、この大会がこんなに大きなものだとは思いませんでしたが、段々とその大きさや議長の重要性を自覚し、緊張もしています。それでも、約300人以上の高校生をまとめ、意見交換をし、津波について考えるきっかけとするために頑張りたいと思います。そして、日本の文化、さらには黒潮町の良さも伝えたいです。



高校生議長 大方高校
今村 琳花

中学の頃から海外や英語に興味があり、今回サミットの議長に推薦された時、最初は迷ったけど、黒潮町で行われるはじめての国際大会の議長というたいへん貴重な体験が出来るので引き受けました。地震や津波などは世界各国の問題で、世界中の高校生が協力し、話し合うことで、防災に対する共通の考えが持てるようになってきたらと思っています。すべて英語で難しいことも沢山あると思いますが、楽しむことも忘れず一生懸命頑張りたいです。

高校生議長が表敬訪問に行ってきました。

来月開かれる「世界津波の日高校生サミットin黒潮」で議長を務める大方高校生1年生(今井恋さん、今村琳花さん)たちが、高知県庁、外務省・国会を表敬訪問しました。

まず、10月17日に県庁を訪れた2人は尾崎知事と面会し、その後上京。安倍晋三首相、岸田文雄外務大臣、二階俊博幹事長らと面談しました。首相から「議長の大役をしっかりと果たしてください」と激励の言葉をいただきました。

二階幹事長、福井照議員らと懇談。



写真上 岸田外務大臣と記念撮影。
写真下 二階幹事長と記念撮影。